

【子育て政策の概要】

訓子府町においても人口減少や少子高齢化が進むなか、将来にわたり魅力的で持続可能なまちの実現のため、日本国憲法第 25 条、児童憲章の 3 原則、子どもの権利条約を子育て政策の基本に据え、「全ての子どもは、最大・最良の環境で」の方針のもと様々な取り組みを進めてきました。また、「ともに支え合い 安心して子育て 元気に子育てができるまち」を基本理念とした『訓子府町子ども・子育て支援事業計画』により、妊娠・出産・育児の切れ目のない支援のもと、安心して子どもを産み育て、子どもがすくすくと成長できる環境づくりを家庭、職場、地域、保育および教育機関、行政などが総合的かつきめ細かく行うための政策を推進しています。

子どもの健康面に関しては、2012 年 8 月から小学生までの医療費について初診時一部負担金以外の無料化を実施し、2015 年 8 月からは中学生まで拡大、2023 年 8 月からは高校生まで拡大しました。

未来を担う子どもたちの健やかな成長と良質な子育て環境を実現するには、仕事と家庭を両立させることができる条件整備が必要であり、子育て支援センター、児童センター、幼保連携型認定こども園を開設し、保育料・給食費の無償化による経済的な負担を軽減し、切れ目のない支援体制や多様化するニーズに対する相談体制を構築し、全ての子育て家庭が不安や負担を抱え込むことなく、身近で安心して子育てできる環境づくりに努めています。さらに、保健・医療・福祉・教育が連携して様々な施策に取り組んでいます。

2010 年開設の子育て支援センターと 2013 年開設の児童センターは、町から事務の委任を受けて教育委員会（幼稚園・保育園の事務担当）が所管していましたが、2018 年 4 月の認定こども園開園と合わせて、子育て施策を総合的に担当する部署として教育委員会に子ども未来課を設置し、こども園・子育て支援センター・児童センターといった子育て施設の運営を一元管理するとともに、子どもの発達や健康・子育て相談などに対応する保健師も配置し、きめ細やかな子育て支援を行っています。

【訓子府町子育て支援センター「ひだまり」】

○所在地	訓子府町旭町 71 番地
○開設日	2010（平成 22）年 7 月 1 日
○建設年	1983 年 11 月（旧あさひ保育園）
○面積	木造平屋建 376.65 m ²
○敷地面積	9,884 m ² （認定こども園含む）
○構成	プレイルーム、ゆったりルーム 多目的ルーム、相談ルーム、調理室
○職員	センター長 1 名（認定こども園長と兼務） 支援員 2 名（有資格者の会計年度任用職員） 子ども未来課職員が施設維持管理担当 保健師が発達相談事業等を担当
○開設時間	平日 8:30～16:30
○利用料	無料

子育て支援センターは、2010 年に保育園の統合で空いた施設を活用して、未就園の子どもがのびのびと遊べる場や、妊婦や保護者が交流できる場を提供し子育てについての相談など子育て支援全般を行い、子どもの健やかな育ちを支援する施設として訓子府町が開設し、次の 5 つの事業を行っています。

①子育て支援事業として、子育て中の親子が気軽に自由に遊べる場やそ

それぞれの親子同士の交流及び触れ合いの場所を提供し、0 歳から就学前まで年齢に関係なく誰でも親子で遊んだり交流をしたりする場としての「自由解放」と、子どもの発達に合わせて年齢別に親子のふれあい遊びや、親子リズム、わらべ歌遊びなどを紹介し、普段自宅ではできないダイナミックな遊びを思いっきり楽しむ「遊びの広場」を実施しています。

②子育て相談・情報提供事業として、子育てへの不安、悩みなどの相談窓口や育児サークルの紹介及び子育てに関する情報を提供しており、子どもの身の回りのことや困っていることなど、子育ての悩みや発達に関していつでも気軽に相談できる場としての「子育て相談」と、ゆっくり相談したい時の「子育て相談サロン」を段階的に実施し、ケースによっては保健師や管理栄養士とも連携を図っています。

③子育て発達相談・連携事業として、発達の遅れがある児童についての相談窓口及び専門機関との調整をしており、作業療法士による発達相談の実施や子ども総合支援センター通所などにつなげています。

④子育て学習として、子育てを楽しく学ぶ機会と保護者がリフレッシュして子育てに笑顔で向き合えるような楽しいミニ講座を実施しており、センターの畑で収穫した農産物による調理実習や父親育児講座、社会教育と連携した体メンテナンス講座などを実施しています。

⑤子育て一時預かり事業として、子育て中の保護者の用事やりフレッシュなどの時間を確保するために、個人及び集団託児を実施しており、ボランティア団体の子育てサポート「メロンキッズ」による支援サービスを1時間 500 円で実施しています。また、町の託児無料事業として生後3か月から1歳6か月までの子ども6時間分を実施していましたが、要望により2024年度から生後3か月から3歳までの子ども30時間まで拡大して喜ばれています。

2006年から活動が続けている子育てサポート「メロンキッズ」（会員28人）は、その功績が認められ、2024年度「ほっかいどう未来輝く子育て大賞」を受賞しました。

事業名	実績数（2024年度）
自由解放	延4,126人
遊びの広場	延 365人
子育て相談	遊びの中114件 サロン8件
ミニ講座	延 138人 親子63組
託 児	個人121件 団体20件116人 託児無料券198件24人

表 子育て支援センター実績